



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

第4回避難訓練～火災を想定して～

9月27日（金）、本年度4回目の避難訓練を行いました。今回は理科室から出火したことを想定しての訓練でした。理科室付近を通らずに避難するためこれまでと避難経路が違う学級もありましたが、子どもたちは整然と避難し避難開始から3分後には全員が校舎外に出て5分後には校庭に整列完了し点呼が終了しました。避難訓練の様子を見ていた一関西消防署の方からもお褒めの言葉をいただきました。避難訓練は「みんなの命をみんなで守る」大切な訓練であることをみんなで確認しました。



避難訓練終了後は、6年生が消火器を使っての初期消火体験を行いました。最初に消防署の方から初期消火と消火器の使い方について教えていただきました。初期消火を行うのは火が天井に届きそうになるまでで、消火器はピンを抜いた後ホースの先をもってホースを抜き、レバーを握る。遠いところから薬を噴射させながら近づく。薬は火に噴射するのではなく、燃えている物に向かって噴射する等、具体的に教えていただきました。その後、何人かの代表の児童が、消火器から的に向かって水を噴射させる体験を行いました。消火器の使い方はそれほど難しくはありませんが、いざという時に慌ててしまわないよう貴重な体験をする機会となりました。



その後、1, 3, 5年生が煙の中を避難する体験をしました。煙は上に上がるので口や鼻をハンカチなどでふさぎながら姿勢を低くして避難することが大切です。消防署の方が理科室の中に人工の煙を発生させ、煙で前が見えない状態にし、一人ずつ避難する体験をしました。このような経験が生かされる場に遭遇しないことを祈りますが、いざという時に自分の命を自分で守るために必要な体験であると考え、これからも全校児童に2年に1回の割合で煙体験をさせていきたいと考えています。